

# 令和3年度 第1回 松野町まちづくり委員会会議録

日時：令和3年7月14日（水）10時00分～11時45分

場所：松野町コミュニティセンター 1階屋内スポーツ広場

## 【委員（出席者）】

氏名	出欠	氏名	出欠	氏名	出欠
井上 六 廣	出	小 西 敏 文	出	岡 正 司	欠
山 口 武 美	出	岡 本 仁 志	出	毛 利 恒 子	欠
山 田 史 郎	出	藤 岡 正 之	出	岡 部 暢 夫	出
毛 利 達 晴	出	加 藤 勝 恵	欠	武 内 正 紀	出
須 田 正 文	出	中 森 京 司	出	毛 利 峰 子	出
村 田 和 宏	出	谷 清	出	—	—
竹 内 義 富	出	井 上 重 人	出	—	—

## ～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1) 第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
- (2) 松野町南小学校校舎等の利活用について
- (3) 松丸商店街のまちづくりについて
- (4) 昨年度開催した専門部会について（報告）

4 自由討議

令和3年度第1回松野町まちづくり委員会の開催結果について

日時：令和3年7月14日（水）10:00～11:45

場所：松野町コミュニティセンター 1階屋内スポーツ広場

参加委員：井上委員、山口委員、山田委員、毛利(達)委員、須田委員、村田委員、竹内委員、小西委員、岡本委員、藤岡委員、中森委員、谷委員、井上（重）委員、岡部委員、武内委員、毛利（峰）委員

参加職員：井上課長、藤本課長補佐、石田課長補佐、土居課長補佐（ふるさと創生課）

内容：概ね次のとおり。

1. 開会あいさつ（坂本町長）
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項

(1) 第2次森の国松野町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	令和2年度の転入者が265人は、純粋に町外からの転入者の総数か。施設入所者も含むのか。
事務局	住民基本台帳上の転入者数であり、施設入所者についても住民票を異動していれば含まれる。
委員	転出者数はどれくらいか。
事務局	令和2年度は251人である。
委員	移住世帯数に比べて転入者数がかかなり多いが、どういうことなのか。
事務局	移住と転入で定義が異なるため数に大きな差が生じている。
委員	転入者の内、地域活動が可能な人数は把握しているのか。
事務局	当課に於いて現在把握していない。 地域防災・避難等においても施設入所者以外の人数把握は必要と思われるため、今回の質問を機に把握に努めたい。

(2) 松野町南小学校校舎等の利活用について

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	資金面は難しいが地域としてできるだけ協力していきたい。 高齢化もあるため、長期で考えると難しい面が出てくるとは思う。
委員	行政としてはどのような利用を考えているのか。
事務局	「地元中心」・「企業と地元が協働」・「全国から募集」が想定される中で、「地元中心」か「企業と地元での協働」が適切かと思っている。

	企業に任せるだけではなく、地元の人にも協働できるような形にしたい。他の自治体での取組事例も参考にしながら地元の人に喜んで貰える場所になるよう企業や地元とともに取り組んでいきたい。
委員	東小学校もいずれは同じような状況になるのではと考えているが、施設の耐震性に問題はないのか。
事務局	現時点で、町内の校舎等は耐震基準を満たしている。
委員	住民を取り込んだ経営主体にして、住民の集まれる場として運営してほしい。
委員	外から人を呼ぶための施設とするのか、それとも地元の人のための施設とするのか。
事務局	事業実施主体を含めこれから検討し、決めていきたいと考えている。
委員	実施するとなると経費が発生してくるが、どのように考えているのか。
事務局	設備等の初期投資は必要と思われるが、それ以外は運営主体が費用負担する方向で考えている。
委員	町が手をかけすぎず、事業主体が注力できる体制としてほしい。
委員	町がとか事業主体がとかではなく、どうしたら今後も松野町での生活が継続できるかを考えていけたらと思う。

### (3) 松丸商店街のまちづくりについて

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	ワークショップ・現地調査を行う事業主体が町となっているが、費用は町が負担することになるのか。
事務局	費用は町が負担する予定であるが、本事業はワークショップと現地調査であるため、多額の費用は想定していない。
委員	今後、ハード面で費用が必要となった場合はどうか。
事務局	その場合は制度等を含め検討していかなければならないが、現時点ではワークショップに注力したい。
委員	松野町はウナギも文化なので取り入れてほしい。
委員	ワークショップ参加者の募集人数はどれくらいか。
事務局	人数制限は考えていない。応募いただいた方ができるだけ参加できるようにしたい。
委員	若い人にも是非参加して貰えるようにしていただきたい。

### (4) 昨年度開催した専門部会について（報告）

ふるさと創生課が資料に基づき説明を行ったところ、概ね次の意見等が述べられた。

発言者	内容
委員	今年度も専門部会は開催するのか。
事務局	昨年度の部会における意見等の打ち返し等、タイミングをみて開催したいと思っている。
委員	次回の部会では担当部署の出席もお願いしたい。
事務局	部会でのご意見にワンストップで回答できるよう対応したい。

#### 4. 自由討議

発言者	内容
委員	町内では必ず手をつないで歩く等、罰則規定のない条例を作って町外へPRしてはどうか。
事務局	町条例でのPRは費用もかからず面白いと思う。 いい案があれば実現できるようにしたいと思う。